

森林環境教育 インフォメーション

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11 (05.10.14 NO.4)
TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援や森林環境教育等のフィールドの提供、技術指導などを支援しています。主な活動区域は釧路湿原上流域で弟子屈町、標茶町、鶴居村、阿寒町、厚岸町、釧路町の国有林です。なお、活動区域以外においても必要に応じ活動します。

9月10月の森林環境教育



9月26日(月)

◎ 釧路町立知方学小学校 全校生徒



全校生徒(25名)を低学年(1~4年13名)・高学年(5~6年12名)にわけ、低学年は紙芝居(森林からの贈り物)を使い森林の大切さを話しながらクイズ形式で木を使っている物をみんなに出してもらい、身の回りにいかに多くの木材が使われているか感じてもらいその後、実際に学校の周囲にある国有林でトマツ、ミズナラ等の樹木に触れ、7種類の樹木の名前を覚えてもらいました。



高学年は「地球温暖化と森林」をテーマに話をし、自分たちの生活と森林の関係、さらにその森林が地球温暖化に対してどのような役割を担っているのかについて理解してもらいました。その後、学校周辺の国有林で実際に胸高直径や樹高の測定を行い、個々の木が固定する二酸化炭素の吸収量の計算を行い、森林が地球温暖化に対してどのように貢献しているか、身近に感じてもらいました。肌寒い日でしたが、楽しそうに輪尺を使ったり、友達を目安にして一生懸命樹高を測っている子供達の姿が印象的でした。



9月29日(木)

◎ 釧路市立柏木小学校 4年生

アメリカ・ベネット小学校との交流会議のための基礎学習として春採湖周辺で種類の多いヤナギを中心に勉強してもらいました。



最初に紙芝居(森林からの贈り物)を使い森林の大切さを話しながら、クイズ形式で木を使っている物をみんなに考えてもらい、身の回りにいかに多くの木材が使われているか感じてもらいました。



虫眼鏡
で観察



その後ヤナギにちなんで「柳」の字が使われている「柳葉魚」(シシャモ)の由来について話をし、実際に春採湖の遊歩道でヤナギの検索図を使いドロノキ、オノエヤナギ(ナガバヤナギ)、キヌヤナギ等を見つけたり、カシワやミズナラの葉を虫眼鏡で見比べて違いを感じてもらいました。子どもたちは自分の学校の周りに、たくさんの木の種類があり実際にふれて調べたことにより、短い時間でしたが興味を示してくれたと感じました。

10月10日(月)

釧路市こども遊学館の遊びんピック(ウォークラリー)で丸太切りを担当しました。

小学生3人が1組になり色々なゲームで時間を競う中で1本のミニ丸太(枝)を3人が順番にノコギリを使って切る時間を競いました。ほとんどの子どもがノコギリを使ったことが無くみんな苦戦をしていました。



今まで森林環境教育を実施した各小学校より感想文を頂いたので一部ですが紹介します。



担任 数本隆子

当日の児童の一言感想より

- ・木(シラカバやイタヤカエデ)を測ったことが印象に残った。丸太を工作するのが楽しみだ。 ななみ
- ・木のことについて教えてもらいました。すごくくわしく教えてくれたのでよかったです。印象に残ったことは、木を測ったことです。 陽祐
- ・自分たちで木を測ったのが良かった。 陽也
- ・実がたくさんあると、何かあるといっていたから、木が死ぬのかなと思っ
た。 智晴
- ・いろいろ勉強になった。一番印象に残ったのは木がCO₂をとじこめている話です。 瑠璃子
- ・今日は斉藤さんに、木のいろいろな種類を教えてもらった。オンコの種に
毒があったなんて知らなかった。 圭汰
- ・いろいろなことがわかってとてもおもしろかった。印象→木がCO₂をとじ
こめておくこと。(100%リサイクルできるとのこと) 礼実
- ・カラマツなどの木について教えてもらった。それからシラカバの樹液が十
勝で売られているなんて知らなかった。 江里香
- ・グラウンドにはシラカバ、エゾマツなどがあってびっくりした。木の名前は
忘れたけど木の実が食べれるのを知って、びっくりしました。 智子

どんぐりの木のほんて
うのなまえがわかって
うれしかった。

さいとう先生 | ねん

森林教室

今日、習った事は絶対おぼえたい。木のし
るいは、知ってるので世界一大きな植物はキ
ノコと始めて知ってよかったです。しんごう
いよごうぼうじが、たのほしらなかつたで
す。ありがとうございます。

三年 植野 拓巳

(鶴居小)



(知方学小)

(知方学小)

ほんの一部しか紹介出来なくて m()m 。

森林教室は木の色々な種類や、音がわ
かると楽しかった。むぎくしが、たのほ
木の見分け方があまりわからなくて
むぎくしが、他に地球温暖化の事
はよくわかった。この勉強をして、私も
色々な森林の事を調べたいと思っ
た。

六年 伊知智波

子どもたちの感想から少しずつですが「森林」について興味湧いてきていると感じています。

今後も各学校の要望を聞く中で、年間を通して実施していきます。時間、内容等ご相談を受けますので、よろしくお願ひします。

さいとう先生、ふじお先生へ

いろいろな木のことをおしえてくれて、本当にありがとうございました。私の心に残っているのは、カラマツとトドマツとミヅツバです。カラマツは、黄色くなると全部落ちると言われ、おもしろくて、トドマツは葉のきざしが、いかに分かれて、おもしろかったです。ミヅツバは、私も知っていたけれど、いかにトドマツが、おてうなぎをつかまえる時に使ったと知ると、いいと思いました。これから木のことを調べる時は、またおしえて下さい。

糸原 有希

さいとう先生、ふじお先生へ

今日は木の名前、木の形などを、いはいおしえてくれてありがとうございました。また、私が一番心にのこっている木は、カシワの木です。カシワの木のカシワは、私の勉強している柏木小学校にも関係しているからです。木はカシワの木が、どんな形か、葉はどんな形かなどが、わかったのと、とてもうれしかったです。今、春採れた、おしえてもらった木の名前を思い出したから、歩きたいと思います。

9/29 鈴木 栞理

(柏木小)

今後の予定

- 10月27日(木) 行政調査・森林環境教育の取り組みについて(鳥取県議会)
- 10月31日(月) 木工教室(柏木小)

紅葉のシーズンです。今後も色々なところで実施します。ご意見ご要望をお寄せ下さい。

